

新型コロナワクチン予防接種の実施について（説明書）

1 ワクチンの効果と副反応

今回の接種は、新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として接種します。

ワクチン接種に伴い次のような副反応があらわれることがあります。

- ・ ショック・アナフィラキシー（冷汗がでる、顔面蒼白、動悸、全身のかゆみ、めまい、喉のかゆみ、手足が冷たくなる）
- ・ 血管迷走神経反射（立ちくらみ、血の気がひく、気を失う（失神する））
- ・ 心筋炎・心膜炎（胸の痛み、動悸、むくみ、息切れ、浅くて速い呼吸）
- ・ 注射部位症状（注射した場所の痛み、腫れ（硬さ）・発赤・紅斑、注射した同じ腕側のリンパ節（わきの下あたり）の痛み・圧痛・腫れ）
- ・ 全身症状（発熱、頭痛、疲労、筋肉痛、関節痛、吐き気、嘔吐、悪寒）

2 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱している人（通常37.5℃以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ 過去に接種を行うワクチンの成分に対し重い過敏症※の既往歴がある人
※アナフィラキシー、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しさ、血圧低下などのアナフィラキシーを疑わせる複数の症状
- ④ 上記以外で、予防接種を行うことが、不適当な状態にある人

3 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ② 過去に免疫不全の診断がされている人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ⑤ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑥ 接種を行うワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

4 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 接種後15～30分程度、接種医療機関の施設内などでお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ② 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また接種後に体調が悪いときは無理をせず、入浴を控える等、様子を見るようにしてください。
- ③ 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

5 予防接種健康被害救済制度について

予防接種では、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。